



パレットの肖像

大沼英樹写真展

2025/5/31^土 - 6/15^日
塩竈市杉村惇美術館

開館時間 10 時～17 時 (最終受付 16 時 30 分)

月曜休館 (6/2、6/9)

展示観覧料 (常設展込) :

一般・大学生 300 円 高校生 150 円

メンバーシップ・中学生以下無料

※各種障がい者手帳を提示された方は割引。団体割引有。

主催・問合せ：塩竈市杉村惇美術館

宮城県塩竈市本町 8-1 電話 022-362-2555

<http://sugimurajun.shiomo.jp/>



パレット 上段左より：

左端一列 岩倉重 榎本七郎 真光一 早坂貞彦 佐々木正寿 渡辺雄彦 佐々木健二郎

パレットの肖像 大沼英樹写真展

本展では、写真家・大沼英樹氏が宮城の画家のアトリエを訪れ撮影した肖像写真と画家愛用のパレットを撮りおさめた写真作品約70点を展示します。

それぞれの画家がこれまで発表してきた作品からは知ることのない制作現場の風景は、画家が魂を打ち込む神聖な空間と言えます。作家によっては非公開でもあり、技法に繋がる画材となれば尚更です。その空間は、作品の印象と結びつくものもあれば、全く違った世界を感じることもあります。また、その創作現場は、楽しむ時間よりも、絶望を希望に変えようと魂をこめる葛藤の痕跡を残す場となります。「画材達は創作するための単なる道具ではなく、そこには必ず魂が打ち込められている。時には、作家自身も無意識で気がつかない自画像が宿っている。ここに記録された写真は貴重な資料のみならず、人を勇気づけ、心を温めてくれる。」と大沼氏は言います。

本展が、時を超え、未来の作家達に励みと挑戦のメッセージを贈る機会となることを願っております。また、特別企画として、洋画家・杉村惇に縁のある作家8名の作品も併せて展示します。画家それぞれのパレットからどのような作品が生み出されるのか、あわせてお楽しみください。

大沼英樹ギャラリートーク

+対談(大沼英樹×渡辺誠一郎/塩竈市杉村惇美術館館長)

2025年5月31日(土)13時～ 要展示観覧チケット

パレットの肖像作家リスト(敬称略、五十音順)

吾妻篤/あさいひろこ/跡部邦明/一関恵美/今井宣子/越後しの
及川英之/大場尚文/奥山和子/小野寺純一/加川広重
柏谷佳代子/数本奈智子/北折整/酒井美雪/櫻井忠彦
佐々木克真/佐々木健二郎/佐々木徹真/佐々木正芳/佐々木洋子
佐藤一郎/佐藤光郎/サトル・サトウ/志賀一男/標葉千香子
柴田治/柴田滋紀/下斗米大作/庄子幸一/白川美紀/菅原敦夫
鈴木征一/高橋勉/高松和樹/土屋薫/中川和寿/中村喜吉
中村由起子/長谷川資朗/早坂貞彦/原秀一/古山拓
本郷けい子/本田崇/前田優光/峰岡順/森敏美/森眞澄
薬師丸郁夫/山田大輔/山本重也/山家利治/吉田利弘/渡辺雄彦

作品の出展(敬称略、五十音順)

吾妻篤/櫻井忠彦/佐々木健二郎/佐々木正芳/志賀一男
早坂貞彦/原秀一/渡辺雄彦

大沼英樹(おおぬま・ひでき)

1969年、山形県天童市のサクラが農家の次男として生まれる。山形県立村山農業高等学校林業科卒業、創表現専門学校 est・スタイリスト科卒業。写真家・穴戸清幸に師事。毎年桜のある風景を撮影している。仙台市在住。2005年宮城県芸術選奨新人賞受賞。2025年「パレットの肖像」写真集を出版。

仙台会場「パレットの肖像」2025年5月20日(火)～5月25日(日)

主催・会場:晩翠画廊(仙台市青葉区国分町1丁目8-14)



高橋重樹《白いアダムとイブ》(1982年・F92)



菅原一画《松の音》(1998年・P40)



菅原雄彦《帽子のある静物》(1996年・F30)

塩竈市
杉村惇
美術館

SHOSAMA
SUGIMURA
JUN
MUSEUM
OF
ART

問合せ:塩竈市杉村惇美術館

宮城県塩竈市本町8-1

022-362-2555

<https://sugimurajun.shiomo.jp/>

